

## 「嵯峨中のために！」の想いを胸に…



西京極陸上競技場に響き渡る拍手、歓声。それは、嵯峨中学校の行進に向けられたものでした。本当に素晴らしい姿でした。みんなの頑張る姿に感動しました。今年の行進は形へのこだわりは勿論、心のこもった行進で「日本一を目指そう！」と運動部のキャプテンを中心に練習を始めました。その目標通りの行進が出来たと思います。

さて、この行進は開会式に参加した運動部の3年生だけで作り上げたのでしょうか。決して、そうではないと思います。2年生の終わりの学年集会で倉先生がみんなに伝えた話に答えがあります。

「嵯峨中のために」は、何のために・・・？行進した人たちは「何のために」行進しましたか？

支えてくれている家の人にかっこいい姿を見せたい。部活の後輩たちに先輩としての見本となるような姿を見せたい。会場にはいない応援してくれている同級生に頑張ったことを報告したい。と、「色んな人のために」という想いを胸に行進したことでしょう。現に、開会式に参加できなかった文科系の部活の人からも「見に行きたかった～」という言葉をもらいました。先生方からも「どんな行進でしたか？」と聞かれました。多くの人がみんなのことを気にかけているということです。それは、嵯峨中生である君たちのことを嵯峨中に関わりのある人たち（家族や友達、卒業生、後輩、将来嵯峨中に来る小学生、近所の人、地域の人、これまで嵯峨中の先生だった人など）が応援している証拠なんです。

「嵯峨中のために」は、学校のためにじゃないんです。それぞれが「誰かのために」「何かのために」という想いを持って心を決めて行動を起こすことではないでしょうか。

そんな想いを持てば、これから始まる修学旅行や体育大会、夏季大会、パレードにフェスタ、合唱コン、高校受験、卒業式とすべての行事がこれまで経験した行事とは一味も二味も違うものになると思いますよ！そして、次にやる「嵯峨中のために」がきっとこれまで一番の「嵯峨中のために」になると思いますよ！

合言葉は「色んな事があると思うけれど、全員で乗り越えていこう！」です！